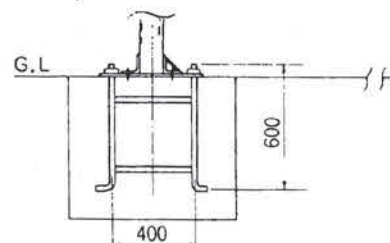
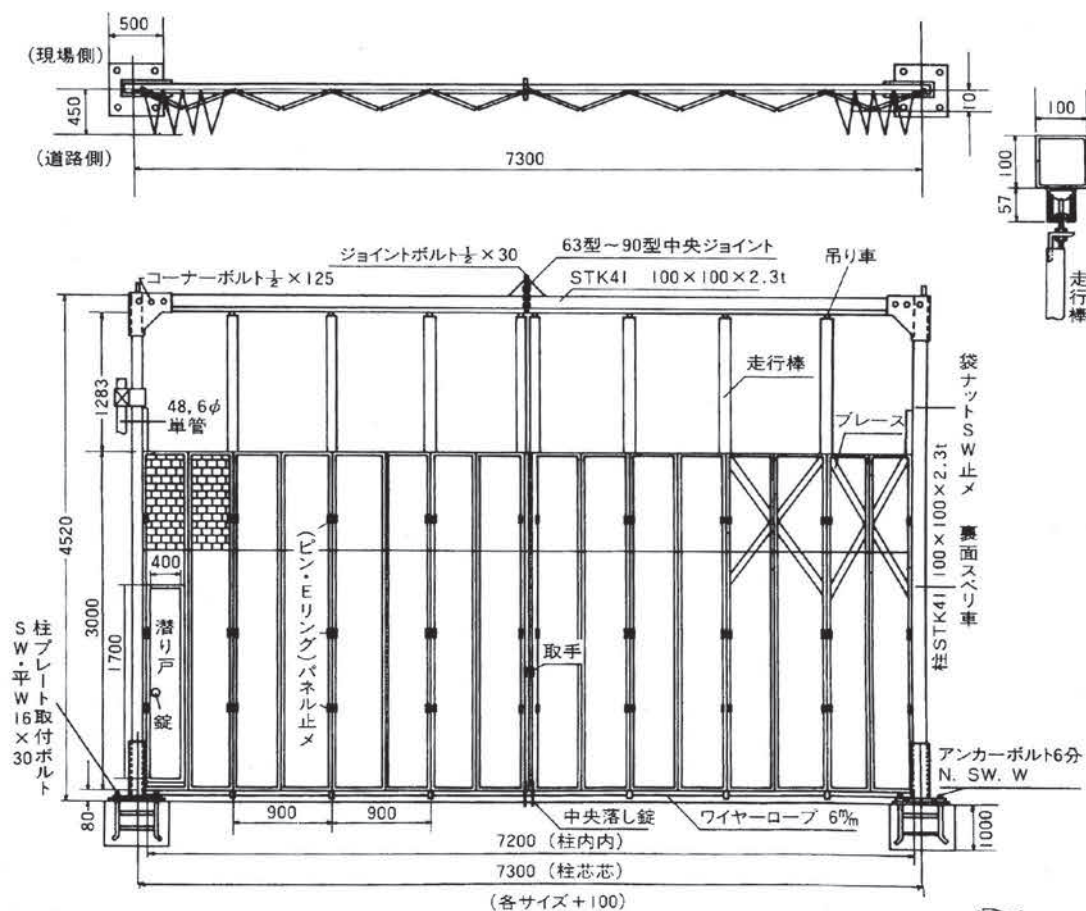
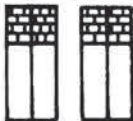
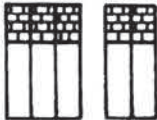
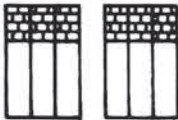
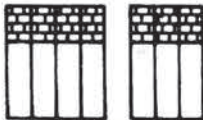
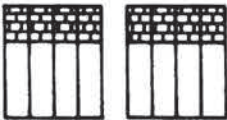


パネルゲート



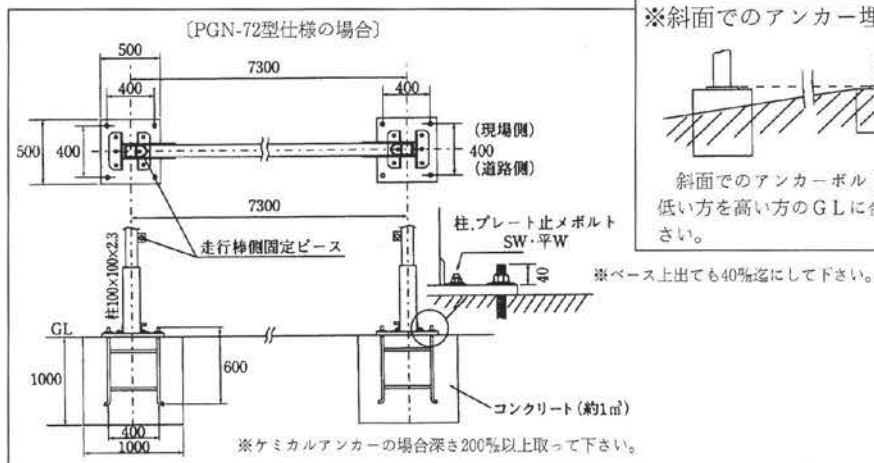
品番	PG-36		
サイズ(mm)	3600W×4500H		
スパン数	4		
重量(kg)	380.0		
No.	996		
形状			
品番	PG-45	PG-54	PG-63
サイズ(mm)	4500W×4500H	5400W×4500H	6300W×4500H
スパン数	5	6	7
重量(kg)	420.0	460.0	520.0
No.	921	922	923
形状			
品番	PG-72	PG-81	PG-90
サイズ(mm)	7200W×4500H	8100W×4500H	9000W×4500H
スパン数	8	9	10
重量(kg)	570.0	610.0	650.0
No.	924	925	926
形状			

パネルゲート組立手順

1. アンカーボルト埋込寸法。

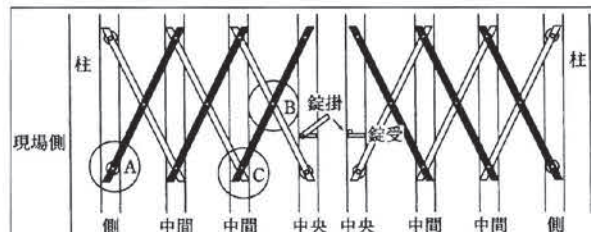
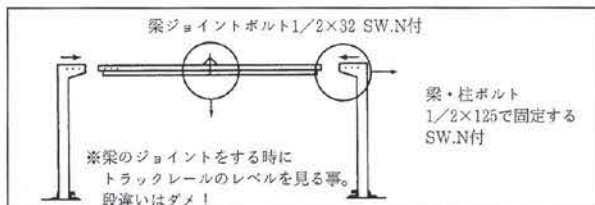
品番	アンカー埋込寸法 (柱芯々)
PG-36	3700 $\frac{mm}{mm}$
PG-45	4600 $\frac{mm}{mm}$
PG-54	5500 $\frac{mm}{mm}$
PG-63	6400 $\frac{mm}{mm}$
PG-72	7300 $\frac{mm}{mm}$
PG-81	8200 $\frac{mm}{mm}$
PG-90	9100 $\frac{mm}{mm}$

※注 柱100角仕様の場合



2. プレートの取り付け。

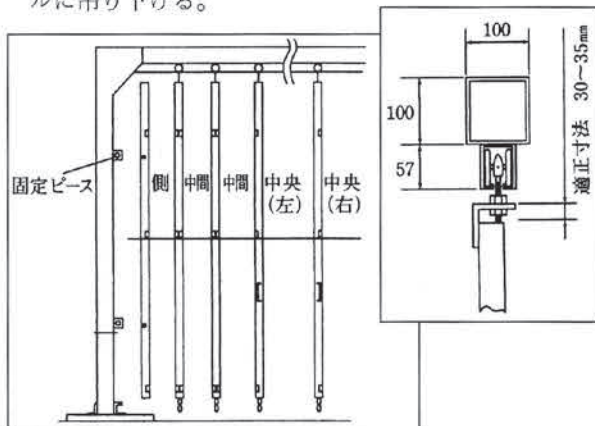
3. 柱・梁をセットする。



4. 走行棒、中間、中央に吊り車を取り付ける。 均一にすること。

図のように 黒色のブース板を上側で
白色のブース板を下側で 取り付けて下さい。
※注意 ブース板の取り付け方が違うと開閉ができません。

5. 走行棒と吊り車をセットした後、柱と梁の隙間よりレールに吊り下げる。



走行棒中央、中間を入れ最後に側を固定ベースに取り付ける。袋ナットで固定する。

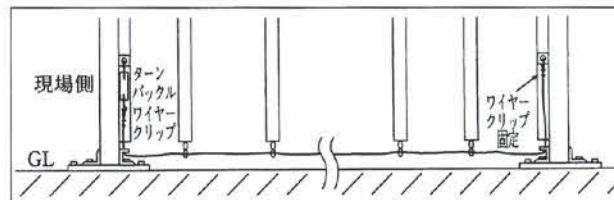
※走行棒のパネル止め丸パイプのレベルで見ること。

均一でない場合、ブレースに負担がかかりスムーズな動きができない。

6. 走行棒が取り付け後にパネルを走行棒に取り付ける。 走行棒の丸パイプ上にパネルのパイプを乗せ、パネル止めピンで固定する。

7. パネルの潜戸付は正面より向かって中央の右側又は左側に取り付けて下さい。

8. パネル取り付け後、走行棒の下部チェーンにワイヤーを通す。



上記のように右側の柱についているワイヤーフックにクリップで固定し走行棒のチェーンに通し、柱の固定ベースにターンバックを引掛けてワイヤーを固定しターンバックでワイヤーの張りを調整する。これで完成。

※設置後は転倒防止の為必ずガイドロープ又は、単管パイプにて控えを取る事。

※台風、暴風時にはパネルを開口し、束ねて応急対策をして下さい。

